

038

**防災模試を活用した Jリーグ全クラブ
参加のクラブ対抗企画
「ソナエル Japan 杯」**

取組主体

公益財団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）

従業員数

想定災害

実施地域

109 人

全般

全国

- Jリーグの各クラブチームが「ヤフー防災模試」の受験者数と成績で勝ち点を競う「ソナエル Japan 杯」を開催。平時から「ヤフー防災模試」を受験することで、楽しく災害時に役立つ知識を身に付け、自助・共助に貢献。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「ヤフー防災模試」の受験者数や点数を Jクラブ間で競う

- 公益財団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）は、東日本大震災から 10 年、熊本地震から 5 年の節目を迎える令和 3 年 9 月 1 日の防災の日より「ソナエル Japan 杯」を開催した。
- Jリーグは、社会課題や共通のテーマ（教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流等）に、様々なステークホルダーと連携して取り組む社会貢献活動として、「シャレン！ Jリーグ社会連携」事業を展開している。「ソナエル Japan 杯」は「シャレン！」の一環として、Jリーグサポーターズカンパニーであり、「ヤフー防災模試」を実施しているヤフー株式会社（Yahoo! JAPAN）と共に、防災意識を高めることを目的に実施された。同取組は Jリーグが「シャレン！」の枠組みで行う、パートナー企業との初めての協働事業となった。
- 同取組に先んじて、令和 3 年 6 月に東海地方に所属する 6 つのクラブが「ソナエル東海杯」を実施した。日本全国で大規模な自然災害が頻発するようになっていることから、より多くの人たちに防災や災害についての知識を楽しく身に付けてもらうことを目指し、すべての Jクラブが参加する「ソナエル Japan 杯」の実施が実現した。
- 同取組で活用された「ヤフー防災模試」は、平時から継続的に災害時の備えや必要な知識を確認する場となることを目指し、Yahoo! JAPAN が令和 2 年より実施している。「地震編」と「台風・豪雨編」の 2 つが用意されており、受験者はスマートフォンからいつでも、どこでも受験できる。Jリーグ、Jクラブのファンやサポーターがスマートフォンで受験し、受験者数や点数をクラブ間で競う Jクラブ対抗企画として、「防災や災害についての知識を身に付けながら、応援するクラブを日本一に導こう」と SNS を通じて呼び掛けられた。



ソナエル Japan 杯キービジュアル

国土強靱化

各クラブが工夫を凝らした取組を実施

- 同取組にはJリーグの全57クラブが参加し、各クラブそれぞれがSNSを駆使して受験を呼び掛けるなど、工夫した取組が行われた。
- 東京都町田市をホームタウンとする「FC 町田ゼルビア」は、選手が実際に「ヤフー防災模試」を受験する「選手チャレンジ動画」や、クラブのマスコットが登場する参加方法紹介ページを作成した。
- 金沢市をはじめ、石川県全域をホームタウンとする「ツエーゲン金沢」は、パートナーである日本赤十字社石川県支部の協力のもと、SNS上で防災に関するクイズを出した。「ヤフー防災模試」の受験を呼び掛けるだけでなく、本取組を通じてファンやサポーターをはじめとした地域住民がより深く防災に関して学び、考える機会を提供することを目指した。



実際に「ヤフー防災模試」を受験する FC 町田ゼルビアの選手



ツエーゲン金沢から出題された防災クイズ



参加方法を紹介する FC 町田ゼルビアのマスコット「ゼルビー」

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 本取組を通じて、参加クラブや選手からも改めて防災意識を高めるきっかけとなったという声が寄せられており、今後各クラブや選手を起点として防災意識向上に向けた啓発がより広がっていくことが期待される。

3 現状の課題・今後の展開等

- Jリーグでは令和4年度も同取組を継続すべく、クラブへのヒアリングや振り返りを実施した。次年度以降はリードタイムがあまりなかった反省を活かし、早めに準備を開始するなど工夫するとしている。

4 周囲の声

- ソナエル Japan 杯での防災模試の受験が役に立った。平時から災害に備える必要があると感じた。(本取組実施期間中に、石川県能登半島を震源とする地震の観測や台風14号の上陸があった際の声)

担当者の声

- このソナエル Japan 杯で実施した「ヤフー防災模試」は楽しく、かつ本質を学べる素晴らしいコンテンツです。
- 年に1回、防災の日等に受験するのも、もちろんいいのですが、災害はいつ起こるか分かりません。ちょっとした空き時間等に繰り返し受験することで知識として身に付き、いざという時に役立つと思います。定期的に受験して、まずは自助、そして家族を含めた共助の知識を身に付けていただき、1人でも多くの方に安全安心な地域づくりの一員になってもらえたら嬉しいです。

問合せ先

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
法人番号：8010005018599

サイト URL



動画

